

平成 19 年度第 2 回人事制度研究会
「生活協同組合コープとうきょうのパート・アルバイト活用マネジメント事例」
人事教育担当専務補佐 渡邊 秀昭 氏

『事業運営を左右するパート・アルバイト活用の重要性から、総合的人事制度を運用』



我が社のパート・アルバイト職員は、正社員 1 3 0 0 名強に対し 6 0 0 0 名程度と 8 割以上を占める。そのため小型店舗の運営をパートに任せるなど、パート・アルバイトを主力とする事業展開を行っている。就業規則についても従来よりパート・アルバ

イト職員専用のものを設けている。正社員と整合する階層区分を設定し、管理職登用、正社員登用、また正社員とパートの行き来も制度化するなど、公平・公正な公開性の高い制度を基調とし、きめ細かい仕組みとしている。

現在のパート・アルバイト職員人事制度を構築するまでの道のりは長く、時代の変化と社会的要請、事業経営の目的や課題を踏まえ、常に改定を続けている。事業運営上、パート・アルバイト職員は貴重な戦力であり、可能な限りパート職員の活躍の場を拡大している。役割に相応しい待遇を制度として確保し、適正な評価考課を行なって公平に処遇する努力も重ねている。今後もより一層、人材と職場の継続的活性化を目指したい。 (文責 事務局)